わくわく園庭日記

蒲幼稚園　　№11　R４,２,４

氷が張ったり、強い北風が吹いたり、体が縮こまるような寒い日もありますが、子どもたちは元気いっぱい！面白そうなことを自ら見つけて遊び始めます。12 月の作業で改造した登り棒、新たに作ったウッドデッキや遊具にも、たくさんの子が興味をもって集まってきました。

改造した登り棒で！

そろりそろりと
渡ってみたよ。

ぼくは、
こっちから登ってみよう。

どうしたらいい…？

登り方もいろいろ

私もやってみる！

ここまで来たけれど…。

「あの橋、渡ってみたいな」「あの中に入ってみよう」それぞれに抱いた思いを実現するため、どのように登ったらいいか考えます。「こっちから行ってみようかな？」「ここからどうやって移ろうか？」登り方が決まっていないので頭はフル回転。さらに「しがみつく」「よじ登る」「バランスをとる」など、知らず知らずのうちに充分な運動。改造したことでより魅力的な遊具になり、子どもたちの中に眠っていた様々な可能性が動き始めました。

ウッドデッキで！

お日様が出る日は、ポカポカと日向ぼっこに最適な場所です。ぺちゃくちゃとおしゃべりしたり、なにやら相談したり、あやとりもしました。また、家や舞台に見立てて遊びが盛り上がっていることもあります。一人でボーっとするもよし、友だちとワイワイ過ごすもよし。ちょっと落ち着いた雰囲気が漂う場所です。…ふと足元に人の気配を感じて覗いてみると…なんとウッドデッキの下から何人もの子どもが出てきました。「こんなところも通れるよ」と得意顔。どんなことでも自分でできたことが、とにかく嬉しいんですね。まさか！と思う子どもの姿に思わず微笑みました。

一段上がっただけで、
なんだかほっこり。

ややや？
こんなところに入っていくぞ。

可動ステージで！

子どもは高いところが好きなんです。また、ちょっとしたスリルを求めており、「よじ登る」「飛び移る」「ジャンプする」「渡る」「くぐり抜ける」など常に何かに挑戦しているようです。子どもの挑戦する気持ちは受け止めながら、後悔するようなケガにはつながらないよう常に環境整備には気を張っていこうと思いました。

楽しい遊びは、裏面まで続きます。３学期ならではの楽しみや発見がいっぱいです。ご覧ください。

今回もたくさんの方が園庭プロジェクトへの参加を希望してくださいました。初めて参加してくださる方もたくさんいて、とても嬉しく思っています。もうしばらく受け付けていますので、どんどんご応募ください。みんなで楽しいひと時を過ごしましょう！

これも挑戦！

大きなサクラの木にまたがっているのは星組さん。自分の力でよじ登り、自分で跨り嬉しそう。木の幹は、まっすぐに伸びているわけではないので、体全体でバランスをとらなくてはならず、これも立派な挑戦です。高い登り棒には登れなくても、その時自分でできそうなことに挑戦する。焦らず自分にあったペースで段階を経ることが重要であると、子どもたちの姿から教えられる毎日です。

みんなに大人気のサクラの木。
ほっと一息つく場所にもなっています。

穴掘りも長く続いている遊びです。
今日は、どんなことをイメージしているのかな？

想像力を働かせて

園庭に穴はいくつ掘られているのでしょう？未だ続く地面の穴掘り。東側に掘られた大きな穴は、やってきた子どもたちによって「宝石発掘現場」になったり、「温泉」になったりと、とにかく子どもたちをワクワクさせるのです。「ここの土は硬いから、何かが出てくるかもしれないぞ」「あっ、土の色が変わった」穴を掘っている子の目は常に真剣で、どうしたら効率よく掘れるかについてもよく考えています。そのため、鉄製の大きなスコップは大人気で、ついに星組さんや花組さんも持ち出すようになりました。

継続して遊ぶ

子どもたちの手によって中央に作られた大きな基地。机や椅子、四角い枠や木片、タイヤまで持ち寄って見事に作られています。机と机の間に板を渡して渡れるようになっていたり、レンガを積むように泥や砂を挟んで木片が組み合わせてあったり、近寄って見てみるとよく考えられているので、ただただ感心するばかりです。入れ替わり立ち代わり、いろいろなクラスの子がやってきて遊ぶので、その都度形は変わっていきますが、２学期後半から続いている遊びで、新たな発想を取り入れたり、危険個所を把握したりと繰り返し遊ぶことで一つ一つの経験が生きているなぁと感じています。

狭いところも大好き！
今日はたい焼き屋さんオープンです。

畳も場を区切るのに便利なアイテム。
ままごと遊びが盛り上がります。

みんなで遊ぶ

月組さんを中心にドッジボールが盛り上がっています。「ルールを守る」「みんなで協力する」「勝敗を楽しむ」など、これまでの様々な経験が生かされる遊びの一つです。大勢で遊ぶことも幼稚園だからできること。月組さんの真剣な表情に雪組さんや花組さんが立ち止まり、試合の様子をじっと見つめていました。「格好いいなぁ～」と憧れを抱いた子もいるでしょうね。時に仲間に入れてもらうこともあるんです。

ある時は、綱引きをしていました。
今度の対決は、子ども VS 先生。
さあ、どっちが勝つか…？

やったー！
見事子どもたちの勝利です。

自分でやってみる

のこぎりで木を切ることに夢中の子もいます。「木ってなかなか切れないんだね。ゲームだと手でスパッと切れるんだよ」なかなか切れないことにやる気が増して、30 分いいえ 1 時間、それ以上も集中して取り組むこともあります。本物を知って、ゲームの世界を理解する。これってとても大事なことだなぁと感じました。

イテッ！
気を付けていても起こることです。擦り傷程度は、貴重な経験。だから真剣に扱おうね。